

防災だより

第12号

2020年2月2日発行 小田急金森泉自治会 自主防災隊

年が明けてまもなく、今年も町田市より、全世帯に便利帳が届きました。

その中に **いざというとき** として、災害時などに必要なことがまとめてあります。

町田市 わたしの便利帳 2020 の p.36~p.44 です

なあ〜んだ、全部知っている だったら、備えは完璧に近いかな？

ああ、そうなんだ **これはやっておこう** だったら、備え不足ですね！

簡単に目を通せます。ご自分の知識や備えをチェックし、ご自宅の取組みを進めましょう！

~~~~~ 以下は、便利帳を読むときの視点です。 ~~~~~

**p.36 地震発生時・時系列行動の目安** 自分の命は、自分で守る。

自分を守れたら、家族・近所・地域を「守り助ける側の力」になれます。

特に発災時～数時間に、何が起こり、何をするか？

**p.38 こんなときはどうする？ 一人ひとりができること**

自宅・勤務先など、発災時いる場所で行動やルールなどが違います。

断水は給水拠点（下の p.42 参照）へ、備蓄食料尽きた時は避難施設（小川高校）へ  
災害時は、医師や機材が集中配備され、以下は、私たちの街に近いところです。

発災3日以内 災害拠点連携病院：町田慶泉病院

4日目以降 救護連絡所：小川小学校 も

**p.39 非常持ち出し品** メガネ・薬・育児用品など、個人こじんで違います。

「一時避難時に持っていく物」「少し落ち着いてから使う物」に分けておきましょう！

**p.39 消防団の取り組み** 紹介と募集です。我こそと思う方は、是非！

**p.40 町田市指定避難広場等** まず、私たちは班集合場所で安否確認・救出・消火です。

次に、避難広場のわさび田公園へ。（地域の安全や互いの確認のための一時避難場所）

そして、避難施設の小川高校へ。（住居を失った人の仮宿泊施設であると共に、

自宅に戻り生活する人の支援物資配給場所）

**p.42 給水拠点配置図** 重い水を長距離運ぶ「入れ物とキャリー」を用意しましょう！

43頁の図⑫⑬⑭が最寄りですが、いずれも約2kmで少し遠いです。確保水量1500mlと多い⑭つくし野応急給水施設（つくし野セントラルパーク内）が、頼りになりそうです。

**p.44 夜間休日の救急診療** この頁は、平常時の診療時間などの情報です。 以上